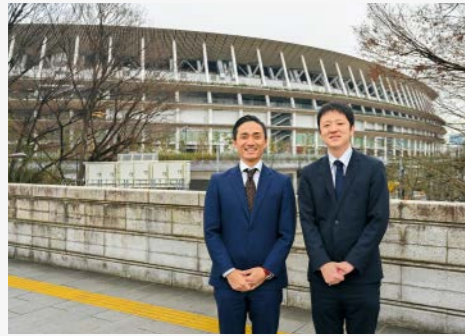




世界に届け! 私たちの想い。For the Tokyo2020

オリンピックスタジアム(国立競技場)



佐藤・また今回は、見えないところに

佐藤・国立競技場に納入させていただいたエレベーターにおける最大のトピックスが「双方向モニター」です。これは、緊急時に防災センターのスタッフと映像でつながり会話できるシステムで、国立競技場に初めて導入させていただきました。これにより耳の不自由な方も手話で会話ができます。そのほか、目の不自由な方のためにポタンに凹凸をつけたり、色の識別が難しい方のためにユニバーサルデザインを採用するなど、どのような方でも不自由なく使えるエレベーターになっています。

長竹・技術的な側面で苦労したことといえば、競技場ならではの広さ、縦に高い一般的なオフィスビルとは異なり、横に広い国立競技場は場内のさまざまな場所にエレベーターが点在しています。図面を書く際の工程も多く大変でしたが、技術者として貴重な経験になりました。



双方向モニターなど最新のシステムを導入。世界に胸を張れるエレベーターが完成しました。

さまざまなこだわりが散りばめられていることも特徴のひとつです。乗り場のポタンの位置や色・サイズ、さらにはエレベーターの到着を知らせるホールランタンなども車いす利用者や障がい者の方へ最大限に配慮した仕様になっています。

長竹・佐藤さんの言う通り、国立競技場のエレベーターは、派手なものはないですが作り手のこだわりが息づいている。ということを強調させていただきたいと思えます。そして、それらひとつひとつの特殊な仕様にはすべて理由があり、国立競技場にふさわしいエレベーターを実現しているのです。

佐藤・三菱のエレベーターに乗られた方々は静かさと快適さを感じていただけるでしょう。安心・安全・快適をお届けするため、そのわずかな時間にこめた私たちの想いも感じていただけたらうれしく思います。



三菱電機(株)ビル事業部 昇降機営業技術部 営業技術第一課 長竹 朝久



三菱電機(株)ビル事業部 ビルシステム第二部 第一課 担当課長 佐藤 崇裕

Ariake Arena

有明アリーナ



東京2020の厳正なガイドラインを満たし、すべての人へ安全と安心をお届けします。



乙須・東京2020ではハンディキャップの有無に関わらず、すべての人にとって利用しやすい施設となるよう「アクセシビリティガイドライン」という規定があり、エレベーターにもさまざまな基準が設けられました。たとえば、手すりの高さは地上から750〜850mm、操作盤の高さは約1000mm、間口は950mm以上など具体的に数値化されています。一般的なオフィスビルのエレベーターにはここまで詳細な基準は設けられませんが、まさに世界中からさまざまな人が集まるオリンピック・パラリンピックならではの基準といえるでしょう。

大高・その基準をしっかりと満たしているかというチェック体制も非常に厳密でした。発注元である東京都の職員の方が三菱電機の種別製作所までお越しになり、オリンピック・パラリンピックに使用される施設に納入するエレベーター全号機の寸法などを事細かにチェックされたのです。私も担



三菱電機ビルテクノサービス(株) 昇降機新設事業本部 営業第一課 大高 康稔



三菱電機(株)ビル事業部 ビルシステム第二部 第一課 担当課長 乙須 大助

当者として検査に立ち会わせていただきましたが、このようなチェック体制も特例といえると思います。

乙須・建物の設計段階からエレベーターに4カ国語対応が求められていたことも、オリンピック・パラリンピックに使用される施設ならではの配慮かもしれません。当時、三菱電機ではAXIEZ(アクシーズ)のモデルチェンジにともない4カ国語対応を標準仕様としておりましたので、その要望に応えることができました。

大高・ご採用いただいたエレベーターは東京2020開幕後も継続的にご利用いただくものです。保守を担う三菱電機ビルテクノサービスとして、今後もメンテナンス等を通じて三菱ブランドならではの品質を保ち、すべての方へ長く安心・安全をお届けしたいと考えております。



三菱エレベーター・エスカレーター おもてなしマップ

移動の空間をおもてなしの場所へ——をコンセプトに展開する三菱電機標準形エレベーター「AXIEZ(アクシーズ)」をはじめ、乗る人の安全と快適をとことん追求した三菱エレベーター・エスカレーター。三菱電機が昇降機(エレベーター158台/エスカレーター30台、計188台)を納入した16拠点は、東京2020大会時には競技会場等として使用されます。会場をご利用いただける日を楽しみにしています!

三菱エレベーター・エスカレーター納入施設一覧

- 1 **オリンピックスタジアム(国立競技場)**
競技場内のエレベーター
- 2 **有明アリーナ**
エレベーター9台
エスカレーター2台
- 3 **武蔵野の森総合スポーツプラザ**
エレベーター8台
- 4 **海の森水上競技場**
エレベーター3台
- 5 **有明体操競技場**
エレベーター1台
- 6 **日本武道館**
エレベーター3台
- 7 **選手村**^{※1, ※2}
エレベーター46台
エスカレーター2台
- 8 **IBC/MPC(東京ビッグサイト)**
エレベーター17台
- 9 **江の島ヨットハーバー**
エレベーター2台

上記施設は東京2020大会期間中は下記の通り競技会場等となります。 ※1 選手村として一時利用される施設へ納入 ※2 現時点での選手村完成イメージであり、今後変更となる可能性があります。





練習風景

Special Interview 上山友裕

パラアーチェリー 男子リカーブ

選手とファンの気持ち为一体になれる競技。
そんなアーチェリーの魅力を多くの人に伝え、
パラアーチェリーの会場を
満員にすることが最大の目標です。



ハンデの有無にかかわらず、やさしくできる社会へ

——その前向きな気持ちで掴み取ったリオ2016のチケット。初めてのパラリンピックの舞台はいかがでしたか？

最初は「いつも通りだな」という印象でした。顔をあわせるのはいつもの国際試合と同じメンバー。むしろ世界選手権の方が出場選手は多いくらいですから。ところが、開会式でその印象は一変しました。あの雰囲気はアジア大会や世界選手権の比ではありません。あの

シーンを子供に見せたくて、今回も頑張って一番高いチケットを申し込んだくらいです(笑)。

——そしていよいよ東京2020。2大会連続でパラリンピックへの出場権を獲得するという快挙を達成しました。

僕は中高生向けの講演会で、いつも「夢と目標は両方持っていないだけダメ」と話しているんです。夢を見るだけで目標を定められない

自由を奪われた脚に、僕はむしろ感謝したい

——日本を代表するパラアーチェリー選手として活躍されている上山さん。幼いころから、体を動かすことは好きだったのでしょうか？

東大阪市の花園で生まれ育ちましたので、小学生のころから中学2年までラグビースクールに通っていました。それ以外に体操教室と水泳教室にも。ですから、体を動かすことは本当に好きでしたね。

——アーチェリーとはどのようなきっかけで出会われたのですか？

中2でラグビーをやめてから、スポーツは何もしていなかったんです。高校に入ってから友達とカラオケに行ったりゲームセンターに行ったり、そんな普通の高校生活を送っていました。でも、心のどこかに「このままじゃいけない」という気持ちは常にあっただすね。そして卒業が迫ってきたとき、同じ大学に進む予定だった友だちに「大学に行ったら一緒にアーチェリーやらへんか？」と誘われたんです。実際に大学のアーチェリー部へ体験しに行ったところ、担当してくれた女性の先輩がめちゃくちゃ美人で(笑)。その先輩に勧められるまま、アーチェリー部の部員になってしまいました。

——そして1年目からレギュラーになり、素晴らしい才能を発揮されました。

アーチェリーは結果が数字に表れるじゃないですか。経験や知識に関係なく、結果がすべて。頑張れば頑張るほど成長、成果に表れるので「今日は昨日よりできた。明日はもっと頑張ろう」という気持ち

ちになれる。そんな競技であることが性に合っていたのかもしれない。でもじつは、アーチェリーは大学まででやめようと思っていたんです。社会人になっても続けた理由は、社内にたまたまアーチェリー同好会があり、僕の学生時代の成績を知っていた先輩に誘われたから。そのときは「またアーチェリーに呼ばれてしまった」という心境でした。

——再びアーチェリーの世界に戻った矢先、脚の病に見舞われました。そのシロクは想像に難しくありません。

みなさんよくそのようにおっしゃるのですが、症状が徐々に悪化していったせいなのか、それとも性格的なものなのか、それほどシロクではありませんでした。周りの仲間や友人も変に気をつかうことなく、今まで通り接してくれましたしね。それより、これはチャンスだと思いました。健常者のままアーチェリーを続けていても、決してオリンピックの舞台には立てなかつたでしょう。やはりレベルが違うすぎますから。脚が不自由になったからこそ、パラリンピックへの道が拓けたのです。不便を感じる面はありますが、アスリートとしてはむしろこの脚に感謝したいくらいです。

ハンデの有無にかかわらず、誰にでもやさしくできる社会。その実現に貢献できるチャンスがあるならば、全力を尽くしたいと思います。

PROFILE

1987年、東大阪市生まれ。高校生のころ友人に誘われてアーチェリーと出会い、同志社大学でアーチェリー部に入部。1年生からレギュラー入りし、関西大学リーグなどで活躍する。大学卒業後に就職した会社でアーチェリーを続けるも、1年目の冬に原因不明の麻痺が両下肢に発症。しかし不屈の精神力でパラアーチェリーの試合にも出場するようになり、2011年秋には国内のパラ大会に初出場し2位を獲得。2014年に「JOCアスナビ制度」を活用し三菱電機へ入社。2016年のリオデジャネイロ2016パラリンピックでは初出場ながらリカーブで7位入賞を果たす。東京2020パラリンピックでは、個人戦はもちろんMIX戦でもメダルを狙う。

@51tomoro 上山友裕 / Ueyama Tomohiro

——最後に、東京2020の目標、そしてその先のビジョンをお聞かせください。

アーチェリーは1試合15分ほどで終わってしまう競技です。そのぶん集中して観戦することができるので、応援している選手と気持ち为一体になれるんです。ですから、競技場に来てくださる際はぜひ応援する選手を決めて、その選手の動きに心を合わせながら楽しんでいただけたらと思います。もちろん、最低限のルールは覚えておいていただければ、より楽しめること間違いなしです。



※METoA Ginzaは新型コロナウイルス等の感染予防および拡散防止のため、当面の間、一時休館しております。
METoA Cafe & Kitchenにつきましては、東急プラザ銀座休館に伴い休業しております。
詳しくは、公式ウェブサイトをご確認ください。



オーストラリア料理を
ぜひ食べに
来てください。

コンセプトはオーストラリアのカフェ。その魅力は、堅苦しいルールやしきたりがないことです。いろいろな食材をワンプレートに盛り付

けたり、色鮮やかな花を飾りつけたり——とにかく「自由」に楽しむのがオーストラリア流。ですから、銀座という街にふさわ

METoA Cafe & Kitchen 店長 沼田直哉さん
銀座という街にふさわしい品格を保ちながら
あたたかみのあるおもてなしを心がけています。



おすすめのスマッシュドアボカドトースト

しい品格を保ちつつも、カジュアルであたたかみのあるおもてなしを心がけています。お客様の層も幅広く、お子連れから外国人の方までさまざま。銀座で働く外国人のお客様も多く、毎日のように通ってくださる方もいらっしゃいます。
おすすめのメニューは、ランチタイムに提供している「スマッシュドアボカドトースト」。厚切りにしたトーストにマッシュしたアボカド、カッターチーズ、ポーチドエッグ、季節の野菜などをたっぷりトッピングし、サラタ・スープとともにワンプレートでご提供します。また、オーストラリアのコーヒーやビール、ワインも多彩に取り揃えています。パンケーキをはじめとしたデザートメニューもありますのでぜひお楽しみください。



バーテンダーとしてのキャリアは60年を超える

東京ステーションホテルBAR「Oak」マスターバーテンダー 杉本壽さん
好きなお酒を好きなようにお召し上がりいただく
それが私にとっての「おもてなし」かもしれません。

東京ステーションホテルの開業は1915（大正4）年。100年以上にわたり東京駅を行き交う人々を見つめてきたホテルです。その一角に、ある人物に会うため多くの人が足しげく通うバーがあります。その名はBAR「Oak」。そして、その人物とはマスターバーテンダーを務める杉本壽さんです。1940年に神奈川県で生まれ、1958年に東京ステーションホテルのカウンターボーイとして就職。翌年にホテル内の「パークメリア」へ配属され、バーテンダーとして歩み始めました。転職が訪れたのは1964年。ニューヨーク万博に参加するため渡米し、現地のバーテンダーに感銘を受けたとのこと。「ニューヨークのバーテンダーはみんな60歳以上のベテランで、街のことならなんでも知っている。いわば「街の顔」です。自分もこういうバーテンダーにならなくてはと思いました」。

もてなしの極意

一流に聞く、もてなしの極意
かつてない賑わいが予想される2020年。国内外から多くの人々が訪れるであろう、東京の注目スポットに足を運び、もてなしの達人を訪ねました。彼らの思うもてなしの極意とは――。



家族みんなで楽しめる多彩なイベントを開催



アニメーションが来館者をわかりやすく誘導

三菱電機イベントスクエア「METoA Ginza」は銀座駅に直結した東急プラザ銀座内にあり、1階はカフェ&グッズショップ。2・3階の展示・体験スペースでは、三菱電機グループの製品やテクノロジー、企業活動などを映像や展示などでご紹介しています。なかでも注目いただきたいのは、2階の壁一面に広がる64面液晶マルチディスプレイ

METoA Ginza
エレベーター・エスカレーターをはじめ
幅広いテクノロジーを楽しく体験



アテンダントスタッフ 楠木さん

ご来館の際は、
お気軽に
お声がけください。

レイ「METoA VISION」。3・4カ月ごとに入れ替わるイベントテーマに合わせた大迫力の映像を、空間全体で満喫していただくことができます。
ご来館いただく方をおもてなしするうえで心がけているのは、どなたにもわかりやすいこと。アニメーションにより施設内を誘導する「アニメーションライティング誘導システム」『てらすガイド』をご用意するなど、より多くの方に楽しんでいただけるよう配慮しています。休日には小さなお子様連れのお客様もたくさんお見えになります。銀座へお越しの際は、ぜひ足をお運びください。



60年以上にわたりカウンターに立ち続けている杉本さん。常連のお客様とは数十年のお付き合いです。「久しぶりに現れては「おっ、まだやっていましたか」と冗談交じりに声をかけてくれる方や「杉本さんが頑張るなら自分も頑張らないとなあ」と目を細めてくれるお客様がいます。私も話をするのは好きですからね。何十年も通ってくれる友人がいるのはうれしいものです」。
話題は核心へ。「杉本さんがお客様をおもてなしするうえで心がけていることは？」という質問に、はにか

オリジナルカクテル「東京駅」



東京ステーションホテル <https://www.tokystationhotel.jp>
17:00～24:00 (L.O.23:30)

～ ミッション遂行の軌跡 ～

アニメーションライティング誘導システム 「てらすガイド」



その場所を訪れるすべての人へ快適な移動を提供するために。

近年、日本では商業施設、オフィス、住居など複数の機能が一体化した大型複合施設が急速に増加し、施設内の移動はますます複雑になっている。そのなかで「外国人や高齢者、車いす利用者など多様な施設利用者に的確に情報を伝達しなくてはならない」という課題があり、またツールである案内表示板や床面ステッカーには「表示内容を変更するたびに作成、貼り換えなどの作業が発生し、費用や手間がかかる」という問題がある。そこで、それらの課題・問題を解決し、すべての人に快適な移動をもたらすべく開発されたものが「てらすガイド」だ。これは光のアニメーションを活用して施設内を誘導するアニメーションライティング誘導システム。国際標準化も視野に入れた全く新しいサインの開発ストーリーをデザイン、ソフトウェア、ハードウェア、さらには営業部門のキーマンが語る。

プロトタイプへの評価に 確かな手応えを感じて

「地面に光の文字や図形を映して何かを伝えるというコンセプトは、自動車に搭載する機能として始まった研究でした」と語るのは、三菱電機デザイン研究所で5年以上にわたり車載器関連の研究を続けてきた坂田。近い将来、自動運転の普及とともにドライバー不在の運転環境が生まれるかもしれない。そのとき、安全を確保するためにも「発進します」「右に曲がります」「ドアが開きます」といった動きを周囲に対して事前に伝えることが求められるのではないか。それを、人の目にとまりやすいアニメーションの光によって実現できないだろうか——という着想が、アニメーションライティング誘導システム「てらすガイド」のスタートラインだった。



人とのつながりが
いちばんの収穫です

三菱電機(株)デザイン研究所
産業システムデザイン部
ビルシステムグループ 専任
坂田 礼子

ターミネーターにより、縦の動線を、セキュリティシステムにより、横の動線を支援しています。これらをより快適にご利用いただくうえで、アニメーションによる光のサインは非常に面白く考えました。

アニメーションライティングを活用したサインの実現に向け、成塚が先頭に立つて取り組んだのが実証実験だった。2017年の「ユースリリス」直後から各方面より問い合わせが舞い込んだ。このシステムのプロトタイプを携え、成塚が最初に向かったのは某大型マンション。そこに、「てらすガイド」の試作機を5台、2週間にわたり設置させてもらった。気になるお客様からの評価は——。

「とても役にやられました。管理会社からは好評でしたが、てらすガイドを毎日見る住人の方からは低評価でした。対象とすべきマークを考案直し、不特定多数が利用する空港や駅向けに実証したところ、お客様から高い評価をいただき確固たる手応えをつかむことができました。」

てらすガイドに最も古くから携わる坂田も、実証実験のチームに参加したメンバーのひとり。とくにサインの

要となる視認性には頭を悩ませた。「実証実験では技術的な面でもさまざまな課題が浮き彫りになりました。たとえば施設ごとによる見え方の違い、空間の明るさやフロアの色によって、視認性は大きく左右されます。また、ただ動かせばいいのではなく動かし方も重要です。ここは点滅させるべきではないか、矢印の見せ方に問題はないか…など、実証実験を通じて繰り返しブラッシュアップしていきました。また、これまでフロアに投影するシステムとしては天井にプロジェクターを据え付けるタイプが一般的でしたが、床に置いて横から投影することも、人影の影響を受けにくいという点で画期的です。」

天面に与えられた 10度の傾斜の意味とは

てらすガイドの外形は幅406mm×高さ856mm×奥行171mm。樹脂で成形された筐体を床に設置して光のアニメーションを投影する。この筐体の開発を担ったのが、福沢製作所の嶋江だ。これまでビルマネジメントシステムの分野でセキュリティシステムの開発などに携わっていた嶋江にとって、今回のミッションはすべてが初体験だったという。

「てらすガイドにおいて、福沢製作所として実績、技術のある板金とこの筐体サイズでは経験のない樹脂のどちらの素材を選択するかがまず議論に。結果、見た目の印象と形状の自由度の高さ、金型で安価に量産できることから樹脂に決まりました。その後も色や形状はどうするかという議論が果てしなく続きました。」

光のアニメーションを用いた動くサインにより 直感的でわかりやすい誘導や注意喚起を実現



床面に投影する光のアニメーションにより、施設利用者が直感的に案内や注意喚起を理解することのできるアニメーションライティング誘導システム「てらすガイド」。初めて訪れた方や車いすの利用者に対して、トイレやエレベーターへの誘導をはじめ会場への案内など、多彩な用途にご活用いただけます。



詳しくはWebへ
<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/building/guide/>



色に関しては白と黒の2色が比較のテーブルに。社内アンケートの結果、一般的な建築物のフロアや壁面と馴染みのいい白に決定。一方、形状についてはこのような議論がなされたという。「ちょうど人が座れてしまう高さなので、座ろうと思わせない、あるいは荷物を置こうと思わせない工夫を施しました。それが、天面につけられたスラントです。背面から前面にかけて10度の傾きを与えたデザインを採用したのですが、そこに行き着くまでには20度、30度まで傾けたほうがいいのではないかという意見も。ただ、人目につく場所に置かれるものですからインパクトの強すぎるものは困る。思いきって三角形にしてはどうかという大胆な意見も同様の理由で却下されました」。



三菱電機(株) 稲沢製作所 システム開発製造部 コンポーネント開発課 嶋江 聡

※FMEA(Failure Mode and Effect Analysis) : 故障・不具合の防止を目的とした、潜在的な故障の体系的な分析方法。

安全性の確保も大きな課題だった。「実証実験からもわかったことなのですが、今まで世の中になかったものだけに利用者の好奇心を刺激してしまうんですね。どこから光が出ているんだろう」と。万が一投影したサインの光源を覗いてしまうと非常に眩しいので、投影口付近の



三菱電機(株) 稲沢製作所 システム開発製造部 ソリューションシステム開発課 専任 扇谷 篤志

新鮮な経験と知見を得ることができました

経験。とくに印象的だったのは、仕事の進め方だった。

いつしか国際標準の技術になることを夢見て

「通常、モノづくりのセクションがデザイン研究所とコラボレーションする際は、我々の製品や技術に研究所のエッセンスを加える」という形になります。技術的に研究所は先を行っていますからね。ただ、今回のデザイン研究所が先を行っていたので、研究所の製品に我々のエッセンスを加えるという形になりました。それが、ある意味とても新鮮でしたね」。

扇谷が新鮮に感じたもうひとつの要素が技術の刷新。「稲沢製作所ではあまり使われない新しい技術が採用されています。インターネットで調べたり、専門書を紐解いたりするなかで、こういった手法があるんだ、という気づきを得られたことは大きな収穫になりました」。前例のないソフトウェアを、わずか半年でまとめあげた扇谷。その努力と活躍に敬意を表するのが坂田。「当初、てらすガイドはソフトウェア

を使用せずに運用する計画でした。それほど細かな調整は必要ないのではないかと考えていたからです。ところが実証実験を重ねるなかで、現場に応じた細かな調整や多彩なコンテンツが必要なことがわかりました。初期のプロトタイプに使用したソフトウェアはわざわざアウトソーシングして開発したのですが、扇谷さんが担当してくださるということ。今後のさらなる改良もやりやすくなります。これからはよろしくおねがいます」という坂田に、扇谷が笑顔で頷く。

国籍の違いやハンディキャップの有無にかかわらず、日本中が多くの人で賑わうであろう2020年。三菱電機が世界に先駆けて開発した、光のアニメーションにも大きな注目が集まること期待される。事実、今回の技術を世界標準にしようという動きが国家プロジェクトとしてすでに進んでいる。

「三菱電機では国立研究開発法人 産業技術総合研究所と共同で、光のアニメーションを用いた動くサイン(ダイナミックサイン)に関する視認性や利便性に関するデータの収



三菱電機(株)ビル事業部 ビルシステム第一部 第一課 専任 成塚 勉

プロジェクトのキーワードは「感謝」

集分析、さらには条件の定義などにより国際標準化を進めています。もちろん、てらすガイドも国際標準化提案中の規格に準拠したものです。日本から先行して海外へ発信することで、もっと多彩な動かし方を世界中で検討できるようにしたら素晴らしいですね」と坂田。

プロジェクトへの想い 今後のコミットメント

最後に、一人ひとりにプロジェクトを振り返ってもらうとともに、今後の期待と希望を話してもらった。

嶋江：当社内で40年近くになたり樹脂製品に携わってきた先輩が「樹脂は生き物だ」というくらい、温度や湿度の変化で5〜6mmも伸縮する樹脂。この素材と向き合ったことは自分にとって大きなチャレンジでした。今後の理想としては、災害時の避難誘導にも役立つシステムになってくれたらいいなと。非常用電源の確保など課題はありますが、大きな可能性を秘めたシステムであることは間違いありません。ビル内の昇降機やロボットと連携してスマートビルでも活躍するなど、今後のさらなる進

化に期待しています。扇谷：個人的には初めてデザイン研究所とコラボレーションさせていたことで、デザインに関する知見を得ることができたことに感謝しています。今後も継続的に協力し合えたら、より良いモノづくりを実現できることでしょう。てらすガイドという私たちの、共同作品が、日本中、さらには世界中の人々の生活をより便利にすることができたらうれしく思います。

成塚：現状のベストは尽くしたうえで発売に至ることができましたが、まだまだ改良の余地はあると考えています。これからも改良・改善に努めていきたいですね。また、今回のプロジェクトのキーワードとしてお伝えしておきたいのが、感謝という言葉。製品化が決まる前から実証実験に協力してくださったマンションや施設の方々、短い開発期間でここまで仕上げてくれたここにいる技術者たち、そして開発を全面的にバックアップしてくれた会社、プロジェクトに関係したあらゆる方々に感謝です。この気持ちをお客様へ還元できるように、営業として全力を尽くします。

専用ソフトをインストールしたタブレット端末などでサインのビジュアルを自由自在に編集可能

投影するサインは多彩なコンテンツの中から任意で選択・組み合わせ、施設管理者自身のタブレット端末により簡単に編集することができます。また、状況・時間に応じて表示を簡単に切り替えられる「スケジュール機能」や、他の設備と連動しながら効果的なタイミングで指定したサインに表示切替することが可能です。



コンテンツ画像の一例



「てらすガイド」の主な特長

光のアニメーションにより円滑な移動と案内業務の省力化・低コスト化を支援

- 高い視認性を持つ光のアニメーションで、従来の案内表示板や床面に貼り付けるステッカーなどのサインに比べ、わかりやすい案内表示を実現。
● 外国人・高齢者・車いす利用者など多様な施設利用者にも直感的でわかりやすいサインにより案内業務の省力化に貢献。
● 案内表示板や床面ステッカーの作成や貼り換えが不要となり、低コスト化を支援。

時間や緊急時などの状況に合わせた表示切替によりタイムリーな誘導を実現

- 設定したスケジュールに合わせた表示切替や、他の施設内設備と連動した効果的なタイミングでの表示が可能。
● 緊急時には自動火災報知機などの信号を受けて自動的に避難誘導サインを表示し、安全な移動を支援。

専用ソフトウェアにより設置状況に合わせた現場での表示編集が可能

- 専用ソフトウェアをインストールしたタブレットなどにより、設置状況に合わせて表示する内容・位置・サイズ・方向が現場で調整可能。
● 汎用的なサインを標準実装するほか、作成した画像や音声の取り込みも可能。

第4回スマートビルディングEXPO(東京展)に「スマートビルサービスプラットフォーム」を出展!!

2019年12月11日から13日まで東京ビッグサイト(東京都)で開催された「第4回スマートビルディングEXPO」(東京展)で、ビル運用の省力化・効率化に向けたサービスロボットと建物内の各設備の連携を、実機を用いたデモで紹介しました。



スマートビルサービスプラットフォームとは^{※1}

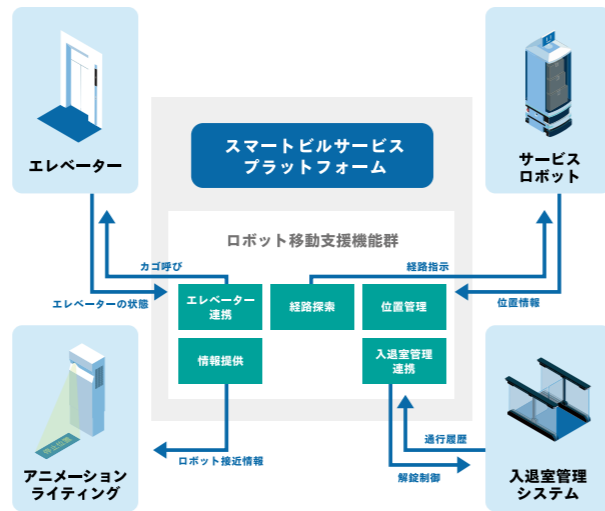
ビルの設備、人、ロボットとの親和性を高め、ロボット自らの自由な移動を実現。サービスロボットが入退室管理システムやエレベーターなどと連携しながら建物内をスムーズかつ安全に移動することが可能となり、ビルの省エネ・省人化、さらには“人が安心してロボットと共存できる社会”の実現に貢献します。^{※1} 2020年4月現在、開発中



SEQSENSE社
セキュリティーロボット「SQ-2」
高度な自律移動技術を駆使した警備ロボット



ZMP社宅配ロボット「DeliRoTM(デリロ)」^{※2}
荷物用ボックスを搭載し、自動運転技術を応用した宅配ロボット
^{※2} 2020年3月に「CarriRo[®] Deli(キャリロデリ)」から名前変更



関連記事: Biz Timeline
<https://www.mitsubishielectric.co.jp/business/biz-t/content/synergy/smartbuilding2019.html>



関連記事: 展示会 技術を知る
<http://www.mitsubishielectric.co.jp/me/convention/smartbuilding/2019/index.html>

METoA Ginzaからのお知らせ

METoA 三菱電機 イベントスクエア
「METoA Ginza」に行こう!

家族や友達と
出かけよう!



ただいま!
開催中

やさしい笑顔がひろがる世界へ、ようこそ!

私たちの“毎日”のとなりには、暮らしを見守るテクノロジーがあります。
ウォーリーと、安心・安全に包まれた街を巡って、そのヒミツを探ろう!

※異業種主催のイベントやサービスは、予告なく中止・延期等を行う場合がございます。詳しくは公式ウェブサイトをご確認ください。

今回のイベントは「暮らしの安心・安全」がテーマです。三菱電機グループは、映像の解析や合成技術、インフラモニタリング、AI、IoT技術などによって、多くの人々が安心・安全に過ごせる“人を想う街”づくりを目指しています。本イベントでは世界中の人に愛され続けている絵本「ウォーリーをさがせ!」とのコラボレーションにより、三菱電機グループが目指す“人を想う街”を楽しいアクションと共に多くの方に体感していただけます。



ここでしか体験できない超巨大「ウォーリーを探せ!」に挑戦!



開館時間 11:00-21:00

METoA Cafe & Kitchenのみ 11:00-23:00 (L.O 22:00)
※新型コロナウイルス等の感染予防および拡散防止のため、当面の間、一時休館しております。詳しくは公式ウェブサイトをご確認ください。

- 東京メトロ銀座駅 徒歩1分 (C2-C3出口)
- 東京メトロ/都営地下鉄日比谷駅 徒歩2分 (A1出口)
- 東京メトロ有楽町駅 徒歩2分 (A0出口)
- JR有楽町駅 徒歩4分 (有楽町駅銀座口)
- 三菱電機本社東京ビル 徒歩11分

METoA Ginzaの最新情報はこちらをご覧ください。

ウェブサイト
metoa.jp

